

学校名 三郷市立高州東小学校
所在地 三郷市高州2-409
電話 048-955-7711

1 本校の概要

本校は昭和55年に開校し、今年度で42年目を迎えた。児童数は273名、通常学級11学級、特別支援学級2学級、合計13学級の小規模学校である。「学校図書館を活用した授業を通して主体的に学ぶ児童の育成～読みを深め、自ら学び・探究できる児童をめざして～」を研究主題とし、今年度より、学校図書館教育に力を入れている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ アウトプットを前提とした読みを深める授業実践
- ・ 探究する機会の充実
- ・ 環境を整え、読書に親しむ態度や習慣付ける取組

(2) 実践の概要

「東っ子いろいろチャレンジ読書 33333 冊！！」

「みんなで読破 三郷おすすめ本」

昨年度、全校児童で25,000冊読破を達成した。今年度より、学校課題研修で学校図書館教育に力を入れ、児童が最後まで読み切ることのできる力を付け、読みを深め、自ら学び、探究できる児童を目指すことを目標とし、全校児童で「33333冊読破＋三郷市おすすめ本読破」に取り組んでいる。

ア アウトプットを前提とした読みを深める授業実践と読書活動

・ 「全学年研究授業の実施」

研究を推進するために、国語科の授業を中心とし、学校図書館だけでなく、公共図書館を活用した授業づくりに取り組んでいる。全学年がアウトプットの仕方を工夫した研究授業を行い、全教職員で共有してきたため、児童への指導の幅が広がり、子供たちの変容が見られた。

・ NIEや傾聴作文の実施（朝学習での実施）

「読み切る力」と「考えたことを記述する力」を高めるため、この2つの取組を実施している。実践を積み重ねることで一人一人の「読み切る力」を育てている。

イ 探究する機会の充実

読書感想文や調べる学習コンクール、統計グラフコンクール等の研修を行い、全職員が自ら探究する機会に取り組むことを通して、児童への指導力を高めた。（R3年度図書館を使った調べる学習コンクール佳作に入選）

ウ 児童が行きたくくなるような学校図書館

- ・ 一定数の本を読み切ったら、名前と本人おすすめの本を掲示するよもよも水族館を設営し、読書意欲を高めた。学期末には、50冊ごとの多読賞や300冊を達成した児童には校長賞を授与している。
- ・ 学校図書館の前に各学年のおすすめ本コーナーを、階段には三郷おすすめ本を掲示し、本がいつでも児童の目に入る環境づくりを行った。
- ・ 今、全校で何冊読むことができているのかを校舎内外に掲示することで自分の1冊が学校目標につながっていることを実感させ、自己有用感や本を読むことの喜びを味わわせている。
- ・ 11月と1月の読書ウイークでは、「読書クイズ」、「本ビンゴ」、「本みくじ」などを行い、児童が楽しく進んで本を読みたくくなるような工夫を行っている。

エ 本を通して家族とのふれあい・絆を深める

保護者、地域の方、読み聞かせボランティアの皆様、学校の読書活動に対する協力とご理解により、読書の輪が広がっている。

- ・ 家族それぞれのスタイルで読書に親しむ家読の日の取組
- ・ 図書資料の購入や寄贈本の提供
- ・ 読み聞かせボランティアによる本の補強 等

3 成果と今後の課題

(1) 成果

今年度より始めた取組も含め、様々な取組を行うことで学校内での読書冊数も大幅に増え、最後まで読み切れる児童が増えた。また、アウトプットを前提とした読みを深める授業を行うことで、書くことに抵抗がなくなってきた児童も多く見られる。

(2) 課題

学年にあう本を選べるようにしたり、教科横断的な視点で学校図書館の活用について見直したりし、学校図書館教育を通して、児童の更なる学力向上へ繋げていく。

(3) おわりに

今後とも、学校図書館教育を通して、わくわく（もっと読みたい）、なるほど（初めて知った）、キラキラ（課題発見）、ドキドキ（探究したい）する児童を育てていく。

